

雇用・人材分科会について

1. 日本再興戦略の書きぶり

(1) 目標: 成熟分野から成長分野への失業なき労働移動を進める

「女性の力」を最大限活かす

大学の潜在力を最大限に引き出す

世界と戦える人材を育てる 等

<主な KPI>

・2020 年に女性の就業率(25 歳から 44 歳)を 73%(現状 68%)にする

・今後5年間で、失業期間6か月以上の者を2割減少させ、一般労働者の転職入職率を 9%(2011 年:7.4%)とすることを目指す。

・今後 10 年間で世界大学ランキングトップ 100 に 10 校以上を入れる。

・2020 年までに留学生を倍増する(大学生等6万人→12 万人)

(2) 今後の議論の方向性(日本再興戦略抜粋)

雇用関連制度については「行き過ぎた雇用維持」から「失業なき労働移動」といった大きな政策転換がなされたが、「世界でトップレベルの雇用環境」にするための課題は残されている。

諸外国の働き方や労働関連法制、慣習、実務などから虚心坦懐に学ぶべきものを取り入れ、国民が求める「柔軟で多様な働き方ができる社会」及び「何度でもチャレンジが可能な社会」を創り上げるために解決すべき課題に真正面から取り組む必要がある。また、多様な価値観や経験、ノウハウ、技術をもった海外の優秀な人材を惹きつけ、その受入れを拡大するための総合的な環境整備についても今後取り組む必要がある。

2. 検討項目(例)

(1) 外部労働市場の発展・拡大

人材が企業を越えて適切に評価され移動しやすい環境の整備 等

(2) 働き手と現場のニーズに合わせた人事労務管理制度の構築

柔軟で多様な働き方の選択肢の検討(例:多様な正社員 等)、企画業務型裁量労働制などの労働時間法制の見直し 等

(3) 労働参加の拡大

高度外国人材の受け入れ拡大に向けた検討 等

(4) その他

グローバル化に対応した人材力強化、大学改革、女性の活躍推進 等

※分科会の議論は年末を目途に「中間整理」を実施。